Ⅲ．委員会活動

[教務委員会報告]

委員長：柴田雅朗
委員：辻郁　佐藤睦美　足立一　清田直恵　大西環　岩田貴代

当該年度における教務委員会においても、年間スケジュール、次年度の開講科目、入学前オリエンテーション、在学生オリエンテーション、卒業研究計画書に基づいてその是非の検討（卒業研究実施受諾分科会)、非常勤講師欠員の補充などを決定してきた。また、その都度、学生にまつわる種々の問題などを討論してきた。以下に新たに決定された事項について列記する。

１．完成した卒業論文は、業者に依頼して、紙媒体ではなく、CD-R にして学生に配布することとした。CD-R 作成は業者に依頼し、CD-R 盤面に印刷を施し、パッケージなど体裁を整えて、学生達の成果として残るようなものとする。
２．再試験申し込み忘れが後を絶たないが、対策としてチューター教員から、ホームルームやメール配信などで学生に何度となく連絡をしている。予防対策は十分に取られており、学生には期日を厳守させることの重要性を理解してもらわなければならない。
３．卒業試験を実施するか否かでは、大学設置基準で定められている条件に卒業試験はないことから、あえて銘打って卒業試験を実施する必要はない。ただ、PT、OT となるための幅広い知識（国家試験レベル）を問うような学科を設けることでは意見が一致した。

[学生委員会]

委員長：井上悟
委員：橋本卓也　森田婦美子　大槻桂右　齋藤典昭　大友健治、高椋綾子

・定例委員会：計１０回開催した。
・事業結果報告：

1. 学生自治会援助
   1） 自治会役員選挙援助：役員選挙の実施を援助した。ほぼ現役員が継続。
   2） 学生自治会主催行事援助：新入生歓迎会（4 月 25 日（水））、球技大会（5 月 30 日（水））、学園祭（10 月 27 日（土））の実施を援助した。本年度はすべての予定が前年度より決定しており、学事に組み込まれていた。
   3） クラブ・サークル設立及び活動の援助：自治会と共にクラブ・サークル新規設立の審査を実施した。
   4） 自治会会計援助：自治会予算作成、予算執行、決算の援助を実施した。
2. 学生生活アンケート実施
   本年度は新 1 年生のことを考慮し、9 月（前年 6 月）に全学生を対象に学生生活アンケートを実施した。その結果をまとめ、教授会での報告・提言を行った。今後、図書室の整備計画、IT 環境整備計画等に反映される予定である。
3. 学生向け研修会・講習会主催
   保健管理室と共催で、4 月 14 日（土）に『飲酒と喫煙』（大阪府薬剤師会）と 6 月 19 日（火）『薬物乱用防止に関する研修会』（大阪市こころの健康センター）、10 月 23 日（火）に『一次救命救急講習会（BLS）』（国際警備保障）を基礎ゼミ時間内で開催した。
4. 保健管理室との連携
   1） 学生委員会会議で毎回保健管理室の状況の報告を受け、連携を図った。
   2） 保健管理室では、例年通り健康相談室を開室した。
5. 非常時の対応についての確認
   疾病補償型学生新補償制度（2012 年）（K.K.ジャパン・プロテクト・システムズ）の契約内容、学園の非常時対策マニュアル等の確認を行った。学園の学生に対する危機管理体制として、重要事項である。

[入試委員会]

委員長：石倉隆
委　員：境隆弘　山口忍　中山広宣　福井信佳　吉機俊雄

入試委員会では、平成 25 年度入試の実施計画、大学入試センター試験実施計画、および平成 26 年度に向けた入試改革に取り組んだ。特に平成 26 年度入試に向けた入試改革では、各入試形態による学業成績の比較検討、各入試形態の実施方法の検討を行い、質の高い学生確保に資するよう結論した。

・各入試形態における学業成績の差はない。
・AO 入試：AO 入試合格者の学業成績を鑑み、現行とするが、入試問題の多様性を考え、募集要項の記載を「ビデオ視聴に基づく小論文」から「講義受講の基づく小論文」に変更する。
・社会人入試：社会の要請を鑑み、現行とするが、合否判定は厳格に行う。
・一般入試：B 方式の廃止、あるいは試験方法の変更を検討したが、調査書の点数化が総合点に占める割合が高いことに問題があるので、これを是正するための対策を講じる。

[広報委員会]

委員長：福井信佳
委員：中村憲正　佐藤睦美　山田隆人　島雅人　工藤芳幸　嶋崎佑一

平成２４年度の広報委員会は、昨年度と同様に業務毎にワーキンググループを形成し、活動を実施した。以下に業務毎の活動内容を報告する。

（１）大学案内の作成
　本年度は、コンペにより作成業者を選定し、「教育内容が受験生に伝わる」をコンセプトに、パンフレットの大改訂を行った。

（２）オープンキャンパスの運営
　年間テーマを掲げて、「毎回あらたな発見がある」をメインテーマに掲げ、オープンキャンパスを運営した。学生、教職員が一丸となり年間９回のオープンキャンパスを実施し、のべ 597 名が参加し、昨年度より参加者が約 10%増加した。(2011 年度 547 名、2010 年度 445、2009 年度 482 名)。オープンキャンパスの参加者にアンケートを実施し、次年度以降に学生の希望を反映していくような体制を取った。

（３）大学通信の発行
　今年度は刊行を３ヵ月に１回の発行に改め編集を行い、４号を発行した。

（４）学外広報活動（ガイダンス、進路室への訪問）
　昨年度同様に、企業ならびに高校から依頼されるガイダンスに積極的に参加した。
　昨年度までの受験生が多かった実績校、および成績上位校を中心とした進路室への訪問を行った。

[ＨＰ委員会]

委員長：柴田雅朗
委員：山田隆人　清田直恵　工藤芳幸　宮本華

平成２４年度より HP 委員会は広報委員会のワーキンググループから独立して始めることとなった。本年度中に本学のホームページをリニューワルするという命題を背負って開始した。まず、ホームページ制作業者選定のための会議、仮見積などを経て業者選定。次いでホームページのシステムを CMS (Content Management System)に変えることに決定した。その理由として、専門知識がなくても、一般的なウェブブラウザー上からテキストや画像、動画などのコンテンツを追加してページを更新できるため、その都度、変更を業者に依頼することなく、コストの削減や効率的かつスピーディーなサイト運営が可能となるためである。また、携帯電話３社およびスマホでも最適化された状態で閲覧できるなど、CMS の採用により、リニューワルすることの意義は極めて大きくなると考えられた。2013 年４月リニューワルに向け、ワークフローを作成した。
各専攻科のページのテーマをそれぞれの専攻科に持ち帰り、討論してもらい、その結果を汲み取り、制作業者との打合せを重ねて、形を整えていった。
トップページのデザインは本学の利便性（都市型キャンパス）をアピール出来るものにした。ホームページのリニューワル版を 2013 年 3 月 18 日に公開し、現在、不具合など経過を見ながら、逐次、改訂を加えている。

[公開講座委員会]

委員長：吉田文
委員：松井理直　大槻桂右　吉幾俊雄　吉松秀典

（1）　会議の開催
- 平成 24 年度は計 11 回の会議を実施した
- 主な議題は 2 回実施した公開講座の計画・運営の検討、公開講座広報活動の計画であった

（2）　公開講座の開催

・第 1 回公開講座
日時：平成 24 年 8 月 4 日（土）13：40～14：40
講師：境　隆弘　氏（大阪保健医療大学教授）
内容：～子どもから大人まで　健康とスポーツを考える～
「生涯ランナー！健康的なランニングのために」
会場：大阪保健医療大学 2 号館　6 階講堂
参加人数：38 名

・第 2 回公開香西
日時：平成 25 年 3 月 23 日（土）13：30～15：30
講師：柳　浩太郎　氏（俳優、高次脳機能障害当事者）
内容：「障害役者　柳 浩太郎の挑戦～高次脳機能障害を生きる～」
会場：大阪市中央公会堂大ホール
参加人数：267 名

＊平成 24 年度は広報委員会と連携し、オープンキャンパス（大学説明）と公開講座を同日開催し、受験者への広報ツールとしても利用した

[図書委員会]

委員長：中山広宣
委員：松井理直　橋本卓也　大西環　岩田篤　高橋知子　田中佳子　上村美智子
　　井村聡子　北川悟

図書委員会は計 9 回開催し、学生満足度向上を目的とする図書館機能充実に向けた作業について、本委員会で適宜検討、実施した。また図書館利用の現状（自習場所としての図書館利用の実態）をふまえて、多くの学生が快く図書館利用できるように改善すべき点についても併せて検討した。

(1)委員会開催日時
１）4 月 3 日　　16 時 20 分～17 時 50 分　１号館３階小会議室
２）5 月 1 日　　〃
３）7 月 3 日　　〃
４）10 月 2 日　　〃
５）11 月 6 日　　〃
６）12 月 4 日　　〃
７）1 月 8 日　　〃
８）2 月 5 日　　〃
９）3 月 5 日　　〃

(2)活動内容
① CiNii の契約
② 専攻学科等の希望図書、雑誌、映像資料の調査と購入
③ 重複のある雑誌の選別と製本
④ 学生選書ツアーの実施
⑤ 学生選書ツアーの小冊子作成
⑥ ツアー購入図書の図書館展示
⑦ 活動のプレゼンテーションとしての掲示物の作成と掲示
⑧ 大学通信へ図書館便りの掲載
⑨ 学生委員会アンケートにおける図書館利用に関する検討
（主な活動の概略）
①②③　図書館および図書の充実に向けた取り組みの一貫である。また、学生の希望図書についての取り組みについても検討を行った。
④⑤⑥⑦　学生選書ツアー・その他

[臨床実習委員会]

委員長：薮中良彦
委員：吉田文　岩田篤　大友健治　前田留美子　本山愼一

臨床実習委員会では 2012 年度に以下の活動を実施した.

１．臨床実習指導者会議の検討
　臨床実習指導者会議を，各専攻，専攻科がそれぞれの日程で開催した．作業療法学専攻の臨床実習指導者会議の形式が変更になり，臨床実習指導者会議において学生面談を行わずに，後日教員が学生を帯同して施設を訪問する形式になった．平成 26 年度まではこの形式で行い，その後は訪問型に移行する予定である.
２．実習謝礼金の支払い報告書の形式の検討
　実習名，実習学生名，実習期間，謝礼金額，入金日，振込人を記入して，施設に報告する.
３．施設側が車の使用を勧めた時のレオパレスの駐車代金の検討
　学生の負担とし，学校は支払わない.
４．愛仁会での臨床実習の検討
　まず，作業療法学専攻の複数名の学生を臨床実習で受け入れて頂けるように交渉を行っていく.
５．臨床実習謝礼金の検討
　現在，当大学の実習謝金は，PT と OT が 1 日 1,000 円で，ST が 1 日 1,500 円である．新規施設開拓に伴い，他の養成校の実習謝金金額を調査することになる.
6.　留年が決定した学生の臨床実習の検討
　ST は実習開始前に後期の試験結果が判明している科目が存在するため，留年が決定した学生は臨床実習に出さない事になった．3 年生末の評価実習は，それ以前の科目を全て合格してから実習を行うことが望ましいので，PT と OT においても ST と同様の規定を策定可能かどうかを検討してくことになった.
7.　1 日の実習時間について
　1 日 9 時間で計算すると共に, 実習出席簿に実時間を記入しなくても良いことに決定した.
8.　留年および休学学生の健康診断受診について
　臨床実習に参加するために健康診断は必須であるため，留年および休学生にも 3 月末の健康診断を受診するように指導することになる.
9.　実習期間中の感染症罹患に対する対応について
　公欠にあたる事項または実習施設の指導で 1/5 以上休んだ場合は, 追加実習を検討する．実習中断の場合の対応については，各専攻／専攻科で内規を作り，今後事例を集めていくこととする.

[ハラスメント委員会]

委員長：洲崎俊男
委員：辻郁　森田婦美子　井口知也　松井奈穂子

１．教育
　２４年度は入学生に対して、奈良県立医科大学の御輿久美子先生に、「ハラスメントとは」とういテーマで講演を依頼した。ハラスメントという言葉になじみが薄い学生にとって、意識付けとなる内容であった。
　２４年度は完成年度を迎える。完成年度を迎えるにあたって、ハラスメント教育を受けていない学年・学科の学生が今回の講習で全員が受講できるよう対応した。
　今後、新入生の入学オリエンテーション期間に実施することにより、本学全学生がハラスメント授業を受けることができ、人として、医療人として、人権に対する高い意識を持ち卒業できるよう対応していく必要がある。
２．活動の実際
　平成２３年度にハラスメント対応マニュアルを完成させた。２４年度は２か月に１度委員会を開催した。また、事案が上がった際は臨時に対応できるよう、委員長、副委員長、委員の意識を統一した。
３．ハラスメントの実際
　学生、教職員からのハラスメントの事案はなかった。
　学内に２か所のハラスメント投函箱を用意した。しかし、この投函箱が学生にとって適切な場所であったのか、例えば投函しやすい環境にあったのか等課題を残した。次年度は、学生のハラスメントへの意識を高めるとともに、投函箱の設置場所についても再考する必要がある。

[キャリアサポート委員会]

委員長：松井理直
委員：井上悟　洲崎俊男　吉田文　井口知也　前田留美子　辻祥子

キャリアサポート委員会は、学生の就職活動およびキャリア教育の支援を行うことを活動の主目的としている。就職活動に具体的に役立つ様、履歴書・自己 PR の書き方や社会人としてのマナーを簡潔にまとめたパンフレットを作成している他、面接の実習を中心にした就職活動支援セミナー、および新入生のマナー意識を高めるためのベーシックマナー・セミナーを開催している。2012 年度の活動は以下の通りである。

(1) 委員会の実施日時と議題

第1回 (2012年4月10日) : 前年度のアンケート結果の見直しと反省、学生の実習前研修。

第2回 (2011年5月8日) : 就職支援セミナー、ベーシックマナー・セミナーの内容検討。

第3回 (2011年6月12日) : ベーシックマナー・セミナー実施後の反省と今後の検討。

第4回 (2011年7月10日) : 就職準備セミナーの改善点の検討と、学生アンケートの検討。

第5回 (2011年10月9日) : マナー研修の次年度案、OT 対象の就職活動準備について。

第6回 (2011年11月13日) : 就職準備セミナーのパンフレットの再検討と作成。

第7回 (2011年12月11日) : 就職資料の管理方法の検討、来年度予算の決定。

第8回 (2012年1月15日) : リクナビ進学の情報掲載に関する検討。

第9回 (2012年2月12日) : OT 就職準備セミナーの事前検討。

第10回 (2012年3月14日) : OT就職準備セミナーの反省会と今後の実施方法の検討。

(2) 委員会メンバー

松井理直委員長、井上悟委員、吉田文委員、井口知也委員、前田留美子委員、

辻祥子事務

(3) 新入生ベーシックマナー講習会の実施

2012年6月12日(火) に基礎ゼミナールの一貫として、2号館各教室で実施。

PT・OT 1年の全学生を対象に実施し、充実した内容であった。ベーシックマナーセミナー用のパンフレットも作成し、これも学生には好評であった。前年度に比べ基礎ゼミナールの時間帯に、内容を絞り込んで実施したことが、結果的に高評価につながったと思われる。

(4) 就職準備セミナーの実施

2012年6月15日9:00～12:10に PT ４年生を対象に、2012年7月7日9:00～12:10に ST 2 年生を対象に、2013年3月14日9:00～12:10に OT 3年生を対象に、就職準備セミナーを2号館講堂で実施した。PT４年・ST２年・OT3年の全学生を対象に実施し、就職準備セミナー用に作成したパンフレットを基に、自己 PR、自己分析、履歴書の書き方について講師から各人が直接指導を受けた後、面接の実習を行った。外部講師を招いた面接の様子は全てビデオに撮影し、セミナー終了後、ビデオを見て各人が反省する時間も持った。学生のアンケートでもとても好評で、来年度も継続して実施することとなった。

(5) リクナビ進学の情報掲載について

リクルート社からリクナビ進学への情報掲載に関する依頼があった。国家試験受験前の２月中に情報掲載を行うということであったため、就職決定者の人数や就職先に関する詳細な情報は掲載せず、大まかな傾向だけを掲載することとなった。また、就職率や就職先の詳細については、国試の合格発表後、再度リクルート社に連絡することとなった。

[ＦＤ委員会]

委員長：森岡悦子
委員：今井 公一　　橋本 卓也　　島　雅人　　大友 健治　齋藤 典昭　白神康裕

FD 委員会では、教員の授業内容の改善と教育力の向上を目的とし、以下の内容を実施した。

1)学生による授業評価アンケートの実施
　前期・後期の最終授業終了後に、オムニバス科目を除く全科目について、学生による授業評価アンケートを実施した。アンケートは、学生自身の学習への構え・教材の利用・授業の分かりやすさ・教員の意欲などの項目（5 段階評価）と、自由記述項目で構成されている。科目担当教員には、アンケート結果に対する応答と受講学生へのメッセージを「学生へのフィードバック」としてまとめて提出して頂き、学内 Web に掲載した。

2)FD 講演会について
　社会に求められるセラピストを育成するには、医療現場で必要とされるコミュニケーション能力を高める教育が重要と考え、FD 講演会を開催した。
　　テーマ：臨床に求められるコミュニケーション・スキルをどのように獲得させるか
　　講　師：岐阜大学医学部医学教育開発研究センター　教授　藤崎和彦先生
　　日　時：2012 年 7 月 10 日（火）　16 時 30 分～17 時 50 分
　　場　所：大阪保健医療大学　1 号館　140 教室
　参加者からは、コミュニケーション教育について、実践可能で具体的な教育方法を講演頂き、学生への指導におけるポイントを知る機会になったと極めて好評であった。

3)FD 意見交換会
　本学における教育のあり方について教員間で話し合うため、意見交換会を企画した。
　第 1 回　日　時：平成 24 年 10 月 30 日（火）5 限
　　テーマ：初年次からのマナー教育とコミュニケーション教育」
　　（内容）臨床実習先からの評価を基に、今後の教育のあり方についての意見交換。
　第 2 回　日　時：平成 25 年 3 月 26 日（火）2 限
　　テーマ：個々の学生に合わせた学習指導
　　（内容）学生の傾向と傾向別学習方法、また傾向分析法と教示法についてのレクチャーと
　　教示方法についての意見交換。

[自己点検評価委員会]

委員長：佐藤秀紀
委員：山口忍　福井信佳　松井奈穂子　井口知也　吉幾俊雄　正木明人

第１回自己点検・評価委員会の開催
日時：４月 17 日（火）　13:00～13:40
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、山口教授、福井准教授、吉機講師、井口助教、松井助手、正木課長
報告事項：委員長報告
審議事項: ①今年度計画について
②平成 23 年度大学年報作成計画について
③教員活動自己点検評価報告書について
④その他

第２回自己点検・評価委員会の開催
日時：５月 15 日（火）　13:00～13:20
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、山口教授、福井准教授、吉機講師、井口助教、松井助手
報告事項：委員長報告
審議事項：教員活動自己点検評価報告書について

第３回自己点検・評価委員会の開催
日時：６月 19 日（火）　13:00～13:30
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、山口教授、福井准教授、吉機講師、井口助教、松井助手、正木課長
報告事項：委員長報告

第４回自己点検・評価委員会の開催
日時：７月 17 日（火）　13:00～13:30
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、山口教授、福井准教授、吉機講師、井口助教、松井助手、正木課長
報告事項：日本高等教育評価機構 平成 24 年度評価充実協議会参加報告

第５回自己点検・評価委員会の開催
日時：９月 18 日（火）　13:00～13:20
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、福井准教授、吉機講師、井口助教、松井助手、正木課長
報告事項：日本高等教育評価機構 平成 25 年度評価案内について
審議事項：大学年報について

第６回自己点検・評価委員会の開催
日時：10 月 16 日（火）　13:00～13:20
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、山口教授、吉機講師、松井助手、正木課長
報告事項：**大学年報について**
審議事項：平成 24 年度教員活動自己点検・評価報告書の様式について

第７回自己点検・評価委員会の開催
日時：11 月 20 日（火）　13:00～13:20
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、山口教授、福井准教授、吉機講師、井口助教、松井助手、正木課長
報告事項：①教授会報告事項について
　　②大学年報について

第８回自己点検・評価委員会の開催
日時：3 月 19 日（火）　13:00～13:20
場所：本学３F 小会議室
出席者：佐藤教授、山口教授、福井准教授、吉機講師、井口助教、松井助手、正木課長
報告事項：①教員活動自己点検・評価報告書について
　　②大学年報について

平成 24 年度自己点検・評価委員会の総括
　開学から４年が過ぎたことから、完成年次後の自己点検及び第三者認証評価への準備と、現在までの大学の概要・教育・研究・施設設備・地域貢献・管理運営の総括として、平成２３年度の大学年報（事業報告書）を編纂し、本学ＨＰ上で公開した。
　本学は、平成２７年度に日本高等教育評価機構で認証評価を受ける予定であり、それに向けて、本年度入会した。本年度は日本高等教育評価機構 平成 24 年度評価充実協議会に参加し委員会にて講演要旨を報告した。今後、日本高等教育評価機構　平成 25 年度セミナーや研修会にも参加予定である。
　社会の要請に充分に応え、教育の質の保証と教育力の向上を図っていくために、大学として不断に検証していく所存である。

[健康管理室]

室長：藤岡重和
委員：薮中良彦　森田婦美子　足立一　岩村正子

保健管理室は保健管理に関する専門的業務を行い、学生の健康の保持増進をはかることを目的とし（大阪保健医療大学保健管理室規定第二条)、以下の業務を実施した。

（1）定期健康診断を実施し、要精密検査・再検査の学生に医療機関を受診するよう指導、必要に応じて保健指導を行い、学生の健康の保持増進をはかった。
（2）健康相談室を毎週開催し、学生の身体的、精神的健康相談及び指導を行った。
（3）保健管理が必要な学生に保健管理室長及び専任教員（看護師）が対応した。
（4）学内の衛生環境及び感染症の予防についての指導助言を行った。
（5）保健管理に関する情報を共有する目的で本年度より全国大学保健管理協会に加入した。本年度総会は 6 月 21 日に京都大学楽友会館で開催され、専任教員が出席した。

[国家試験対策委員会・連絡協議会]

期間：平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月　計 12 回開催
場所：１号館 3 階大会議室
国家試験対策委員会メンバー：藤岡委員長　山口副委員長　境委員　辻委員　今井委員
山田委員　足立委員　松井助手　森岡委員　平尾委員
越智委員　中平委員
事務局　佐藤副委員長　中村
国家試験対策連絡協議会メンバー：佐藤副本部長　藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　越智特任教授　今井講師　足立講師　山田講師　松井助手
事務局　中村
※国家試験対策連絡協議会は、佐藤副本部長を世話役とし、他構成員をワーキングメンバーとした。

●開催日時と出席委員
第１回国家試験対策委員会　平成 24 年 4 月 17 日 15 時～
藤岡委員長　山口副委員長　境委員　辻委員　今井委員
山田委員　足立委員　松井助手　森岡委員　平尾委員 越智委員　中平委員　事務局　佐藤副委員長　中村
第２回国家試験対策委員会　平成 24 年 5 月 8 日午前 9 時半～10 時半
清野学長　藤岡教授　山口教授　境教授　辻教授　平尾特任教授　事務局　佐藤副本部長　中村

第１回国家試験対策連絡協議会　平成 24 年 6 月 19 日 15 時～15 時 40 分
佐藤副本部長　藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　足立講師　松井助手　（欠席　越智特任教授　）
事務局　中村
第２回国家試験対策連絡協議会　平成 24 年 7 月 17 日（火）15 時 30 分～16 時 30 分
佐藤副本部長　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　山田講師　足立講師　松井助手　越智特任教授　（欠席　藤岡教授　今井講師）
事務局　中村
第３回国家試験対策連絡協議会　平成 24 年 8 月 7 日（火）15 時 00 分～
清野学長　佐藤副本部長　藤岡教授　山口教授　境教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　足立講師　松井助手
事務局　中村　（欠席　越智特任教授　辻准教授）
第４回国家試験対策連絡協議会　平成 24 年 9 月 18 日（火）15 時 30 分～
佐藤副本部長　藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　松井助手　越智特任教授　事務局　中村　（欠席：足立講師）
第５回国家試験対策連絡協議会　平成 24 年 10 月 16 日（火）15 時 00 分～
佐藤副本部長　藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　足立講師　事務局　中村　（欠席：松井助手　越智

特任教授）

第６回国家試験対策連絡協議会　平成 24 年 11 月 27 日（火）15 時 50 分～16 時 40 分
佐藤副本部長　藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　足立師　松井助手　事務局　中村（欠席：越智特任教授　山田講師）

第７回国家試験対策連絡協議会　平成 24 年 12 月 18 日（火）15 時 00 分～
藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　足立講師　事務局　中村　（欠席：佐藤副本部長　越智特任教授）

第８回国家試験対策連絡協議会　平成 25 年 1 月 22 日（火）15 時 30 分～16 時 30 分
藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　足立講師　松井助手　事務局　中村（欠席：佐藤副本部長　）

第９回国家試験対策連絡協議会　平成 25 年 2 月 19 日（火）15 時 30 分～16 時 30 分
佐藤副本部長　藤岡教授　山口教授　境教授　辻教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　足立講師　松井助手　越智特任教授　事務局　中村

第１０回国家試験対策連絡協議会　平成 25 年 3 月 19 日（火）14 時 40 分～16 時 20 分
藤岡教授　山口教授　境教授　辻准教授　森岡教授　平尾特任教授　今井講師　山田講師　足立講師　松井助手　事務局　中村（欠席：佐藤副本部長　越特任教授）

● 国家試験対策委員会から国家試験連絡協議会へ

平成２３年１０月に国家試験対策委員会が発足し、1 期生の国家試験受験に向け、様々に取り組みを行ってきたが、本番を迎えるにあたり、OCR 時代のノウハウも取り入れ総力を結集するため、事務方の代表として佐藤副本部長を世話役とし、OCR 校長の越智特任教授、OCR・OT 元学科長の平尾特任教授をメンバーに加えて、相談・連絡を密に行う体制を整える必要があった。

また、国家試験対策委員会としてこれまで取り組んできた領域は、共通科目（解剖、生理、内科が中心）であり、かつ専門科目の対策には専攻教員の協力が必須で、共通教員は共通科目、専門科目は専攻教員が責任ある対策を打てるよう、相互に情報交換しながら進むため、清野学長のご指示により、連絡協議会へと改組した。

● 対策の流れ

<u>臨床実習前</u>

・基礎領域に特化した国家試験対策集中講義を計３回（計 130 時間）実施。
初回は 7 月 24 日～28 日（火～土）に実施した。

・対策講義の前後に模擬試験を行い、実施前（7 月 23 日）の実力と成果を把握（7 月 30 日）した。

・さらに上書き講座として、集中講義後の 8 月 6 日、9 日、11 日の 3 日間に 15 時間の講座を実施。

・3 年生を対象に、10 月 9 日、国試オリエンテーションを実施、同日専門・共通科目領域の模擬試験を実施（50 問ずつ計 100 問）。さらに解剖の学習として骨標本を使用し、実際に動かしたり、説明するなどさせた。また、HR でも、基礎領域対策講義に取り上げられた内容で作成したオリジナルプリントをやらせた。HR 後、Moodle に問題をアップし、解かせてそれを担当教員にメール送信させ、個別に添削して返信した。2 年生にも数回同

様に実施した。

臨床実習後

・臨床実習から帰校後、ラーニングアセスメント評価を実施。各人で自分にとって効率のよい勉強法を知り、それを取り入れるように指示。
・AT（OCR 卒業生）に学習支援の目的でご勤務いただく。
・業者模擬試験を計 8 回、実施した。
・休日対策勉強のため校舎を開放。それに伴い、教員側も休日出勤の担当を決め、出勤を依頼した。
・専門の講義を、専攻教員でそれぞれ実施した。

年明け

・1 月実施の業者模試、3 年生も受験。
・個別指導および弱点領域の対策講義を実施。後輩ということで OCR の卒業生が頻回に長時間指導してくれ、激励してくれた。
・1 月から、学生が知りたいテーマについての解説、過去問を解いて、間違ったところをその日のうちにまとめて提出、間違いを一緒に見て指導するという方法で定着を図った。

国家試験後

・合格率（PT　97.7%　OT　86.7%）であった。不合格者を、再チャレンジ組として、支援していくこととなった。